

第3回「子ども教育委員会」が開催されました

～アウトメディアの取組の充実を！～

7月24日に、総合福祉センターで、今年で第3回目となる「子ども教育委員会」が開催されました。町内の小・中学校の児童会・生徒会役員 17 人が出席し、昨年採択された「アウトメディア宣言」が、児童・生徒にどれくらい意識され、アウトメディアが取り組まれているかについて、各学校の全児童生徒を対象にしたアンケートの結果をもとに、アウトメディアの取り組みの充実に向けて協議を行いました。



小学校グループ

「アウトメディアを意識して生活している」と答えた児童や「メディアの利用をへらした」児童の割合が多いが、反面、アウトメディアを意識しない児童もいることから、家庭でできることや学校や町でできることについてまとめました。



【家庭でできること】

- ・メディア利用の時間をくぎる。
- ・勉強の目標時間を決める。
- ・家族みんなで話し合っ、ルールを決める。
- ・目に見える範囲にメディアを置かない。 など

【学校や町でできること】

- ・呼びかけのポスターをはる。
- ・全校集会や放送で呼びかける。
- ・一人一人の意見をアンケートで調べる。
- ・ノーゲームデーに取り組む。 など

中学校グループ

アンケートの結果から意見を交流しました。

- ・アウトメディアを意識しないで生活している生徒が多い
- ・アウトメディアが親に十分伝わっていないことも考えられる
→親も含め大人にアウトメディアを伝えていく必要がある
- ・アウトメディアの対象を幼児期から進める
- ・地域の環境や自然を生かして、友だち同士で楽しめることに取り組んでいく
- ・アウトメディアについての考えを共有する
- ・親子で一緒に学習する機会をつくる

【今後の取組について】

- ・大人にアウトメディアを伝える。
- ・地域の特徴を生かす。(自然に恵まれていることなど)
- ・声をかけ合う。
- ・考えを共有する。
- ・ルールを作る。 など

